



黎明

同窓会だより れいめい
山形県立鶴岡中央高等学校

第 28 号

発行
山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会
鶴岡市大宝寺字日本国410
0235 (25) 5723

印刷
(有) 杉葉堂印刷
0235 (22) 5538



大山犬まつり

会員の皆様には、ご清勝にてお過ごしのことと存じます。新型コロナウイルスも五類相当に分類され、国内外の往来も盛んになり、感染以前よりも多くの世界中の人々が自由に行動できる日々、笑顔の絶えない日常が戻って参りました。三月一日に卒業式が挙行され、前日の二月二十八日に入会式を行い、同窓会五役が分担し、新たに二・三三名の方を会員として迎え入れました。入学式は四月八日に挙行され、鶴岡中央高校での熱意ある志と高い学習意欲を持った、二・三三名の新生が入学いたしました。

昨年の同窓会総会は時期を九月に変更し開催しましたが、多くの会員の皆様より参加いただき、提案した議案を原案通りに承認頂きました。総会後の懇親会では、全国高等学校総合文化祭に出場した天魄太鼓部の演奏で開会し、思い出話や情報交換など和やかで楽しい一時を過ごしていただきました。

同窓会の目的は、第二条に会員相互の親睦と研修に努め、鶴岡中央高等学校の発展に寄与するとあります。

令和六年度は、二年連続で出場した部活動全国大会への支援を行いました。

在校生が日々活躍する姿を喜び、卒業後には親睦を深め、母校の発展を未来永劫応援し、皆様と共に暖かく見守る活動を行って参りたいと思います。

近年は同窓会役員も、以前より幅広い年代の皆さんから参加いただいています。理事会や総会等の参加が多くなりますように、地元をはじめ日本の各地で活躍している会員の皆様からのご協力をお願いします。

今年度の同窓会の総会も、九月に開催しますので、多くの皆様からご参加いただきますようお願い致します。

結びに、鶴岡中央高等学校の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸、更なるご活躍をご祈念申し上げます。



会長の挨拶

田中 俊彦

鶴岡中央高等学校 黎明同窓会総会のご案内

期 日：2025年9月13日(土) 午後2時
会 場：グランドエル・サン
会 費：懇親会参加 **6,000円**
当日年会費 **2,000円** も宜しくお願いします

申し込み：(8月18日(月)まで同窓会事務局へ)
ハガキ または FAX (0235-25-5733)
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国 410
鶴岡中央高校内同窓会事務局 宛 TEL.0235-25-5723



～ 総会当番は〔中央〕平成18年3月卒・平成19年3月卒・平成27年3月卒・平成28年3月卒の皆さんです～

当番幹事は、これまで卒業して10年後と20年後に担当していましたが、先日の常任理事会・理事会合同会議にて、令和7年度から卒業して7年後、17年後に担当する、に変更となりましたことをご報告いたします。



去年の総会には、多くの皆様にご出席を頂きありがとうございました。とても和やかな楽しいひとときでした。一昨年前はコロナ禍後、最初の総会で少人数でしたが無事に開催された事大変嬉しく思いました。会長はじめ、役員一同感謝の気持ちでいっぱいです。当番幹事の皆さんのがんばりに感謝です。今年もお会い出来る事を楽しみに待っています。

令和六年度 黎明同窓会 関東支部・総会「同窓生のつどい」は、十月二十日に開催されました。役員会では郵便料値上げ前に案内を出すべく、会員構成を精査し案内周知に備えました。功を奏したのか前年を上回る参加者が有り、中に「初めて参加したけど同窓会があったんだ」と話した卒業生もいました。「案内取組みの一層強化」をと役員一同思った次第です。また、温海高卒業生も参加してくれたのも嬉しいことでした。会員の羽黒山山伏、先達、忠禎氏の御祈願で始まった総会・懇親会は終始和やかに執り行われました。四月に第一回役員会が開かれ、総会・懇親会の準備に入りました。

今年度総会・懇親会は



関東支部長
齋藤 仁幸

関東支部だより

編集後記

これから暑くなり、熱中症になってしまいう事があります。外だけでなく、室内にいても、なります。急に暑くなったり、湿度が高かったり、エアコンが嫌いで我慢したりしています。

自分は大丈夫だと思いがちですが、軽いめまい、頭痛、吐き気等があった時は、水分や塩分の補給、それでも改善しない時は、通院し早めの手当をしましょう。

御寄稿いただきありがとうございました。編集委員一同

LINE
公式アカウント



友達登録
お願いいたします

学校PR

かようなんか
花様年華



鶴岡中央高等学校
生徒会長 ねず ね々
さとう 齋藤

は「花様年華」を掲げ、一人ひとりが最も輝く瞬間がある一年を目指して日々取り組んでいます。私たちは新たなことにたくさん挑戦し、たくさん経験して、失敗しても次の成功に繋がれるように頑張っています。動き出せば必ず何かを得られるというのを信じて今後も取り組んでいきたいです。

頑張りたい事



鶴岡中央高等学校
1年5組 高橋 伶桜奈

目標だった中央高校に入学し、一ヶ月がたちました。私には、充実した高校生活を送るために頑張りたいことが二つあります。

一つ目は勉強です。高校の勉強は、中学校の勉強より難しくなり、ついていけるかとても不安でした。ですが、先生方が優しく教えてくださり、分かる問題が増えてきました。これからもっと難しくなるので、自主的に取り組み頑張っていきたいと思っています。

二つ目は部活です。私は小学校、中学校と約九年間バドミントン

トンを続けてきました。高校生は中学生と違い、正確な技術、強いメンタルなど、私が学べることがたくさんあるので、先輩の姿をしつかりと目に焼きつけ、チームに貢献できる選手になれるように頑張りたいです。

学習しています。一年次とは違った学習の仕方でも迷うこともありですが、授業に真剣に取り組む、予習・復習を徹底することで学力を向上させたいと考えています。また、二年次は自分の進路を具体的に考える大切な一年です。興味のある分野について調べ、積極的に情報収集をすることが必要です。自分の将来の目標を見据え、今何をすべきかを考え日々の学習に取り組んでいきたいと思っています。

ワクワクしてる 毎日



鶴岡中央高等学校
2年1組 さとう 遼

私の夢



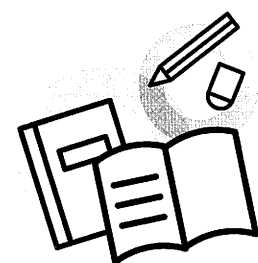
鶴岡中央高等学校
3年5組 岡部 未沙樹

二年次に進級してクラス替えもあり、新しい環境での学校生活に、毎日とてもワクワクしています。授業では、一年次で基礎を固めた科目をさらに掘り下げるため、文理選択を行いました。私は文系を選択しており、古典や生物の授業は、クラス単位ではなく文系選択者と一緒に

私の夢は保育士になることです。私は年下のいとこの世話をすることが好きで、乳幼児と関

わる仕事に興味を持ちました。また、インターシップで実際に保育園に行き、園児や保育士さんと関わり、やりがいや充実感をとても感じました。保育士さんが園児に優しく寄り添う姿を見て、将来は私も保育士さんのように子どもたちの健やかな成長を支えたいと強く思い、高校でも家政科学系系列保育系に所属しながら熱心に学んでいます。

保育士という夢の実現に向け、私は高校卒業後、保育士の資格が取得できる短期大学への進学を志しています。短期大学では、保育の専門的な知識を身につけたり、保育実習を通して実践力を高めていきたいと考えています。そして、小さいことでもコツコツと積み重ねて継続的に努力をし、着実に力をつけていきたいと思っています。困難に直面することもあると思いますが、諦めず頑張っていきたいです。将来は子どもたちに優しく寄り添い、安心感のある保育士になれるよう、夢に向かって努力し続けます。



「黎明」に寄せて

校長 田村 裕

この四月より本校校長として拝命しました田村です。今後とも何卒よろしくお願いいたします。同窓会の皆さまからは、本校の教育活動全般にわたり、物心共に多大なるご支援を賜り、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

まずもって報告をさせていただきますが、令和七年四月八日本校入学式が執り行われ、普通科一七名、総合学科一六名、合計二三三名が新入生として入学しました。全校生徒六四二名で令和七年度順調なスタートを切ったところです。

また今年三月に卒業した三年次生の進路状況ですが、進学一四三名、就職六三名（在籍二四名）でした。過去二年間と比較すると、若干進学の比率が低下し、就職が上昇という状況です。進学者については、国公立大学が三名、私立大学五七名、公立短大三名、各種専門学校等七〇名という状況でした。一方、就職は県内志向が高く民間企業五〇名、公務員四名という状況です。大変よく頑張ってく

れたと感じているところです。

さて、今年三月第七次山形県教育振興計画が策定されました。目標は「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」です。今後十年間この目標達成に向け、本校の校訓を踏まえながら、学校・家庭・地域が連携して生徒たちの成長を支援していかなければならないと感じています。特に本校の校訓「共生」については、学校とふるさとを愛し、地域や社会に貢献できる人材の育成を掲げています。山形県の人口が一〇〇万人を割ったことも話題になっている中で、山形県・庄内地方の持続可能な社会を次の世代に繋ぐ有意な人材を育成することこそ、本校が担うべき役割の一つであると感じています。地域に期待され、必要とされる学校として今後も生徒・教職員・丸となって頑張っていきたいので、同窓会の皆さまからの変わらぬご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

鶴岡中央時代～夢を追い続けて～

松田 大樹 先生



鶴岡中央高校には、平成十三年度から二十七年までの十五年間お世話になりました。その間、十四年度から二十五年までの十二年間は担任を四回させていただきました。充実した時間を過ごすことができました。また、部活動も女子バレーボール部を一年、ソフトボール部を十四年担当させていただきました。ソフボール部では部員が三名からのスタートでした。新しい鶴岡中央の歴史を作っていくんだと、生徒ともども必死に夢を追い続けました。定年延長（六十五歳）となった教員生活ですが、理想は担任を持ち、毎日生徒と接しながらお互い成長していくことです。しかし、あと何回担任ができるのかわかりません。鶴岡中央時代の財産、それは関わりを持てた生徒がたくさんいたことです。担任、学年、部活動、学年外等々本当にたくさんの生徒と関わりが持てました。毎日たわいのない話をし、一番近いところでみなさんの成長を感じることができ、行事等では隠れた才能も見ることができ、それこそ毎日が刺激のあ

る充実した日々でした。教員生活最初の卒業生を送り出した時に、当時の生徒に言ったこと…『いつか、おめがだの子どもを担任することが夢だ』…まだ叶えられていません。少しでも可能性があるならば、その夢を今後も追っていききたいと考えています。



鶴岡中央高校の思い出

渡邊 倫生 先生

鶴岡中央高校には、平成二十二年から六年間勤務しました。教員になって初めて担任したクラス、英語の授業、部活動、二大行事など、十年以上前の様々な出来事が思い出されます。その中でも最も印象に残っているのは中央祭のダンスコンテストです。クラス全員が体育館のステージ上でストーリー性のあるダンスを全校生に披露し、見ている生徒も含めて全員が盛り上がりつつある様子から学校全体の一体感を感じました。鶴岡中央高校には普通科と総合学科があり、生徒の皆さんは多様な進路先を目指して日々勉強に励んでいました。インターネット上の「山形県立高等学校ポータルサイト」「学校紹介動画」では鶴岡中央高校の生徒が出演する学校紹介ページがありますので、是非御覧ください。地域との連携、庄内の豊かな自然、伝統文化の継承、新しいことへの挑戦など、鶴岡で学ぶことの魅力満載の動画です。昨年参加した同窓会では、担任として送り出した卒業生と約十年ぶりに再会しました。それぞれが社会人として頑張っている話を聞くことができ、嬉しく思いました。またどこかでお会いできることを楽しみにしております。鶴岡中央高校卒業生の皆様の今後益々の御活躍を祈念申し上げます。

令和6年度 会費納入者芳名簿

旧如蘭支部

四高昭和24年卒

佐竹喜代子

家政27年卒

吉田悦子

家政29年卒

笹原悦子

家政31年卒

池田邦子

佐藤美穂子

家政33年卒

諏佐千穂

家政35年卒

黒崎幹子

斎藤宣子

渥美捷子

井上節子

家政38年卒

山田南海子

石川貴美子

家政39年卒

広瀬多美

上原玲子

小幡朋子

家政40年卒

曾根喜美子

薩美敏子

家政41年卒

小松和

家政42年卒

廣井朝美

家政43年卒

中川涼子

秋山恵子

家政44年卒

立石たけ子

家政45年卒

伊藤優子

家政46年卒

富樫洋子

家政47年卒

太田久美

三村妙子

家政48年卒

佐藤君子

倉沢恵子

小林静子

家政53年卒

板垣真弓

家政54年卒

川越由美

家政56年卒

小山田真生

渡部多喜子

家政59年卒

佐藤真由美

丸山千賀

小玉節

伊藤和枝

家政63年卒

大川優子

家政平成4年卒

原田裕美

家政平成7年卒

渡部信子

家政平成9年卒

上林泉

家政平成10年卒

藤澤梨香

旧西高

西昭和27年卒

小林民男

渡部幸治

古谷光子

西28年卒

佐藤憲二

西29年卒

佐藤勝士

櫻井寔

佐藤純子

西34年卒

佐藤圭江子

西38年卒

佐藤丈六

佐藤洲人

西39年卒

斎藤勝元

伊藤芳一

小野寺義明

西41年卒

佐藤まさ子

五十嵐一利

西42年卒

松浦繁子

佐藤美愛

田澤あき子

伊藤一利

加藤健市

遠藤晴知子

斎藤三五

里義信

富樫茂

高田政明

西43年卒

半澤正昭

高嶋恵

古川昭子

石川富代女

松下美知子

佐藤富夫

村瀬友美子

成田日出子

西44年卒

富樫秀雄

西45年卒

宮崎喜久美

菅原真一

鈴木明彦

斎藤二三男

西46年卒

斎藤仁幸

五十嵐俊一

佐藤多枝子

成沢実

斎藤泰宏

上林幸

山口清二

成田光雄

佐藤薫

西48年卒

坂善彦

丸山明子

若松祐

三浦久敏

小林清美

半澤隆

西49年卒

田中俊彦

東海林良哉

丸山隆逸

尾川勝則

佐藤三枝

菅原徹

衣田悦子

叶野重典

西50年卒

佃源治

須藤立

阿部良一

野口稔

橋本るみ子

和田昭子

小林悦子

阿部芳則

後藤勝

大川美紀

清和ふみ子

蛸井勝正

漆原六七八

西51年卒

原敏

西52年卒

村田行正

西54年卒

関徹

丸山浩子

東海林宏

西55年卒

井上克浩

西57年卒

本間美加

西58年卒

佐藤聡

安井美幸

西59年卒

鈴木聡

西60年卒

榊本陽一

西61年卒

黒崎浩矢

奥泉公志

佐藤徹

西平成元年卒

吉住年正

西平成9年卒

小泉亜紀

佐藤亜伊子

西平成10年卒

佐藤哲

中央高校

中央平成11年卒

安野亮平

高橋勇一

五十嵐玲子

中央平成15年卒

藤本大樹

石黒誉久

中央平成16年卒

佐藤友彦

中央平成17年卒

山本寛之

吉住雄貴

佐藤夏至美

渡邊隼人

中央平成19年卒

木村晃一

中央平成21年卒

田中翔太郎

佐藤叶望

工藤康

中央平成24年卒

佐藤勝

長南雄太

佐藤拓夢

中央平成25年卒

佐藤貴幸

中央平成26年卒

菅原隆介

五十嵐海

日向友莉

中央平成27年卒

太田博子

中央令和3年卒

町野大悟

令和7年3月卒業

213名

全員納入

令和6年度 寄付者芳名簿

渡部 信子 10,000 円

旧西高

田中 俊彦 6,000 円

吉住 年正 3,000 円

東海林良哉 10,000 円

丸山 隆逸 3,000 円

半澤 正昭 3,000 円

高嶋 恵 2,000 円

斎藤 仁幸 3,000 円

渡部 幸治 1,000 円

佐藤 憲二 1,000 円

佐藤 勝士 1,000 円

櫻井 寔 1,000 円

佐藤 丈六 3,000 円

佐藤 洲人 10,000 円

斎藤 勝元 10,000 円

加藤 健市 1,000 円

遠藤晴知子 1,000 円

富樫 茂 10,000 円

古川 昭子 3,000 円

石川富代女 1,000 円

佐藤 富夫 1,000 円

富樫 秀雄 1,000 円

鈴木 明彦 3,000 円

斎藤二三男 3,000 円

五十嵐俊一 10,000 円

佐藤多枝子 1,000 円

齋藤 泰宏 3,000 円

成田 光雄 1,000 円

坂 善彦 1,000 円

丸市 明子 8,000 円

若松 祐 2,000 円

三浦 久敏 3,000 円

小林 清美 1,000 円

菅原 徹 3,000 円

叶野 重典 1,000 円

佃 源治 10,000 円

須藤 立 1,000 円

小林 悦子 1,000 円

蛸井 勝正 1,000 円

漆原六七八 1,000 円

村田 行正 1,000 円

丸山 浩子 1,000 円

井上 克浩 3,000 円

佐藤 聡 3,000 円

安井 美幸 3,000 円

中央高校

高橋 勇一 1,000 円

藤本 大樹 1,000 円

山本 寛之 1,000 円

太田 博子 3,000 円

町野 大悟 10,000 円

旧・現職員・他

兼子 由香 15,000 円

伊藤 吉樹 3,000 円

阿部 達也 2,000 円

松田 大樹 3,000 円

小林征二郎 5,000 円

日向 香菜 2,000 円

安野 浩夫 4,000 円

令和6年度 活動報告

- 1 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与しました。
- 2 同窓会運営の現状を鑑み、運営の在り方を模索しました。
- 3 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指しました。

令和6年度 一般会計決算書

令和6年度 一般会計決算書				
自 令和6年6月1日 至 令和7年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	1 入会金	1,070,000	1,065,000	△ 5,000
	2 年会費	668,000	744,000	76,000
	3 寄附金	100,000	286,000	186,000
	4 繰越金	1,486,398	1,486,398	0
	5 雑収入	602	4,999	4,397
	合 計	3,325,000	3,586,397	261,397

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
1 運営費	875,000	700,502	△ 174,498	
(1)事務費	90,000	22,880	△ 67,120	事務用品、プリンタートナー
(2)事務委託費	390,000	365,030	△ 24,970	団費職員賃金
(3)備品費	5,000	0	△ 5,000	
(4)通信費	70,000	32,141	△ 37,859	会議案内用ハガキ、切手代
(5)会議費	80,000	71,055	△ 8,945	各種役員会等
(6)旅 費	160,000	160,000	0	関東支部出席同窓会3名学校2名
(7)雑 費	80,000	49,396	△ 30,604	卒業式生花 約2万円 ゆうちょ銀行払込料金等 約3万円
2 事業費	1,680,000	1,257,480	△ 422,520	
(1)総会費	600,000	387,247	△ 212,753	総会案内はがき印刷費等 15万円 新聞広告費 4.6万円 懇親会費 19.2万円
(2)会報発行費	800,000	613,853	△ 186,147	会報印刷費 約25万円 会報発送・封入・封緘 36.4万円
(3)卒業記念品費	140,000	134,820	△ 5,180	証書ホルダー
(4)後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(5)同期会開催祝金	30,000	20,000	△ 10,000	西高S51年卒同期会(4/27開催)
(6)慶弔費	10,000	1,560	△ 8,440	弔電料2件
3 基金積立金	400,000	400,000	0	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	100,000	100,000	0	
4 雑 費	60,000	26,490	△ 33,510	関東支部への祝い金、お土産代
5 予 備 費	310,000	44,550	△ 265,450	庄内日報新聞広告料 (中央高校特集、新人戦特集の2回分)
	合 計	3,325,000	2,429,022	△ 895,978

収入決算額 3,586,397円 - 支出決算額 2,429,022円 = 残金 1,157,375円 を次年度へ繰越

令和6年度 各特別会計決算書

令和6年度 各特別会計決算書				
1 基金積立金特別会計				
自 令和6年6月1日 至 令和7年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	1 繰越金	2,086,563	2,086,563	0
	2 積立金	300,000	300,000	0
	3 雑収入	437	948	511
	合 計	2,387,000	2,387,511	511
【支出の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	合 計	0	0	0

収入決算額 2,387,511円 - 支出決算額 0円 = 差引残金 2,387,511円 次年度へ繰越

記録 ※平成20年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出
※平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計				
自 令和6年6月1日 至 令和7年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	1 繰越金	641,683	641,683	0
	2 協力金	214,000	213,000	△ 1,000
	3 寄附金	0	0	0
	4 雑収入	317	217	△ 100
	合 計	856,000	854,900	△ 1,100
【支出の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	1 運搬費	250,000	194,864	△ 55,136
	2 備品購入費	0	0	0
	合 計	250,000	194,864	△ 55,136

収入決算額 854,900円 - 支出決算額 194,864円 = 差引残金 660,036円 次年度へ繰越
※協力金は平成18年3月卒業生から一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 サッカーグラウンド整備 100万円支出
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等 124,884円支出
※令和元年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 329,691円支出
※令和2年度 電子黒板購入 473,550円支出
※令和3年度 特別棟Wi-Fi設置 1,580,260円支出
※令和4年度 テント購入 243,320円支出
※令和5年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 388,249円支出
体育館音響設備工事費 694,650円支出
※令和6年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 194,864円支出

3 財政調整基金積立金特別会計				
自 令和6年6月1日 至 令和7年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	1 繰越金	3,300,111	3,300,111	0
	2 積立金	100,000	100,000	0
	3 雑収入	889	1,500	611
	合 計	3,401,000	3,401,611	611
【支出の部】	項 目	予算額	決算額	増減(△)
	合 計	0	0	0

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
合 計	0	0	0	

収入決算額 3,401,611円 - 支出決算額 0円 = 差引残金 3,401,611円 次年度へ繰越

令和7年度 活動方針

- 1 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与します。
- 2 同窓会運営の現状を鑑み、運営の在り方を模索します。
- 3 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指します。

令和7年度 一般会計予算書

令和7年度 一般会計予算書				
自 令和7年6月1日 至 令和8年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	1 入会金	1,070,000	1,070,000	0
	2 年会費	668,000	668,000	0
	3 寄附金	100,000	100,000	0
	4 繰越金	1,157,375	1,486,398	△ 329,023
	5 雑収入	625	602	23
	合 計	2,996,000	3,325,000	△ 329,000

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
1 運営費	815,000	875,000	△ 60,000	
(1)事務費	60,000	90,000	△ 30,000	プリンタートナー、事務用品
(2)事務委託費	390,000	390,000	0	団費職員賃金
(3)備品費	5,000	5,000	0	
(4)通信費	50,000	70,000	△ 20,000	会議案内用ハガキ・切手代
(5)会議費	90,000	80,000	10,000	各種役員会等
(6)旅 費	160,000	160,000	0	関東支部出席
(7)雑 費	60,000	80,000	△ 20,000	入会式生花 2万円 ゆうちょ銀行払込料金等 4万円
2 事業費	1,715,000	1,680,000	35,000	
(1)総会費	640,000	600,000	40,000	総会案内ハガキ印刷費等 27万円 新聞広告費 5万円 総会費 32万円
(2)会報発行費	780,000	800,000	△ 20,000	会報印刷費 24万円 会報発送・封入・封緘 54万円
(3)卒業記念品費	140,000	140,000	0	
(4)後援会賛助金	105,000	100,000	5,000	前年度いただいた寄付金5,000円を後援会へ
(5)同期会開催祝金	40,000	30,000	10,000	枠外※参照
(6)慶弔費	10,000	10,000	0	
3 基金積立金	300,000	400,000	△ 100,000	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	0	100,000	△ 100,000	
4 雑 費	40,000	60,000	△ 20,000	
5 予 備 費	126,000	310,000	△ 184,000	
	合 計	2,996,000	3,325,000	△ 329,000

※同期会開催祝金は20,000円支給。
(支給は5年間につき一度であること)

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
合 計	0	0	0	

総会資料(議案第1号、第2号)について、第1回常任理事・理事会合同会議(6月25日開催)にて承認されました。ご不明な点がございましたら、黎明同窓会事務局にお問い合わせください。

令和7年度 各特別会計予算書

令和7年度 各特別会計予算書				
1 基金積立金特別会計				
自 令和7年6月1日 至 令和8年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	1 繰越金	2,387,511	2,086,563	300,948
	2 積立金	300,000	300,000	0
	3 雑収入	489	437	52
	合 計	2,688,000	2,387,000	301,000
【支出の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	合 計	0	0	0

記録 ※平成20年度 10周年記念事業負担金 100万円の内 786,000円支出
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出
※平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計				
自 令和7年6月1日 至 令和8年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	1 繰越金	660,036	641,683	18,353
	2 協力金	214,000	214,000	0
	3 寄附金	0	0	0
	4 雑収入	864	317	547
	合 計	874,900	856,000	18,900
【支出の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	1 運搬費	300,000	250,000	50,000
	2 備品購入費	0	0	0
	合 計	300,000	250,000	50,000

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
1 運搬費	300,000	250,000	50,000	天魄太鼓部 太鼓運搬費
2 備品購入費	0	0	0	
合 計	300,000	250,000	50,000	

※協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 サッカーグラウンド整備 100万円支出
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等 124,884円支出
※令和元年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 329,691円支出
※令和2年度 電子黒板購入 473,550円支出
※令和3年度 特別棟Wi-Fi設置 1,580,260円支出
※令和4年度 テント購入 243,320円支出
※令和5年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 388,249円支出
体育館音響設備工事費 694,650円支出
※令和6年度 天魄太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 194,864円支出

3 財政調整基金積立金特別会計				
自 令和7年6月1日 至 令和8年5月31日 (単位 円)				
【収入の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	1 繰越金	3,401,611	3,300,111	101,500
	2 積立金	0	100,000	△ 100,000
	3 雑収入	389	889	△ 500
	合 計	3,402,000	3,401,000	1,000
【支出の部】	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)
	合 計	0	0	0

【支出の部】				
(単位 円)				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
合 計	0	0	0	